

子供たちに伝えたい美しい日本語のしらべ

唱歌集 1

# ふるさと

絵 竹中俊裕





唱歌集1

# ふるさと

絵 竹中俊裕



君が代(国歌)

君が代は

千代に八千代に

さざれ石の

巖いわとなりて

苔のむすまで

(明治十三年 初演)

\*原歌 わが君は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで(古今集)



故郷ふるさと

高野たかの 辰之たつゆき  
文部省唱歌

兔追うさひし彼の山

小鮒こぶな釣りし彼の川

夢は今もめぐりて

忘れ難き故郷

如何いかにいます父母

恙つつがなしや友垣

雨に風につけても

思おもひ出づる故郷

志をはたして

いつの日にか帰らむ

山は青き故郷

水は清き故郷

(大正三年『尋常小学唱歌』)



\*友垣・・・ともだち。交わりを結ぶのを垣を結ぶのにたとえていう。